

将棋の総本山

将棋の総本山として親しまれている「将棋会館」は、昭和51年に渋谷区千駄ヶ谷に建てられた。プロによる対局が行われる他、利用者同士が楽しめる将棋道場や将棋グッズを販売する売店などもあり、多くの人々が訪れている。道路を隔てた鳩森八幡神社には、将棋の「王将」の駒が納められた「将棋堂」があり、棋力向上を願う人のパワースポットとなっている。

「渋谷読書人」は

渋谷に関わる人全てに向け、おすすめ本の情報を発信していく、渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。



『死神の棋譜』

奥泉 光 / 著 新潮社 2020

鳩森神社の将棋堂に、詰将棋の図式が結ばれた矢が刺さっていた。そして、この図式を見つけた棋士が失踪した。この図式が意味することとは？ 失踪の理由は？ 主人公は過去にあった同じような失踪事件をカギに、この謎を追い始めるが…。実在のプロ棋士も登場し、将棋ファンならワクワクのノンストップ・ミステリ。



『駒音高』

佐川 光晴 / 著 実業之日本社 2019

プロを志す中学生、引退間際の棋士、将棋会館の清掃員など、将棋の世界に生きる人々の物語。将棋界に関わる人々とその家族の人間模様を様々な切り口で描いた連作短編集。将棋の厳しさや楽しさ、温かさや奥深さを知れ、心が温まり前向きな気持ちになれる全7編。

渋谷読書人 2023年8月・9月号

発行 / 編集 渋谷区立図書館

株式会社図書館流通センター

発行日 2023年8月

渋谷区立中央図書館

電話 3403-2591

住所 渋谷区神宮前1-4-1



さあ！世界へ飛び出そう！

～ 9月27日は世界観光の日～



『世界珍食紀行』

山田 七絵／編 文藝春秋 2022

世界には現地でしか味わうことができない魅力的な料理が多数ある。世界各地で調査を重ねる研究員たちが食したものを綴ったエッセイ集。読み進めるたびに驚きが待ち受けている。その国ならではの食べ方など、食文化から世界を知ることができる一冊。



『消滅遺産』

ナショナルジオグラフィック／編 安倍 雅史／監修
日経ナショナルジオグラフィック社
日経BPマーケティング(発売) 2018

永遠に失われてしまったもの、消滅の危機に瀕しているもの、一度は失われたが修復されたもの…。世界の偉大な建築物を、かつての姿を記録した写真で紹介する。なぜ消滅してしまったのかを改めて考える一冊。



『レス』

アンドリュー・ショーン・グリア／著 上岡 伸雄／訳
早川書房 2019

主人公のレスは50代に差し掛かった売れない小説家。長く付き合っていた年下の恋人が突然別の男と結婚することになり、結婚式に招待される。出席を断る口実に、レスは世界中の文学イベントをめぐる旅に出る…。旅路の果てに、愛は見つかるのか？



『世界でいちばん素敵なSDGsの教室』

小林 亮／監修 三オブックス 2021

SDGsは持続可能な未来を実現するために“17の道しるべ”を掲げている。本書はQ & A形式でわかりやすくSDGsのエッセンスを伝える入門書であり、日常生活において何ができるのかを考えるきっかけをくれる。世界に目を向けると現実と課題が見え、訪れたい国の新たな一面が発見できるかも。美しい写真を多く用いた、綺麗で見やすいビジュアル図鑑。



『旅が教えてくれた人生と仕事に役立つ100の気づき』

小林 希／著 産業編集センター 2020

60カ国以上を訪れた著者が、旅で感じた風土や文化、言語や価値観の違いなどから、「自分らしく生きるためのヒント」をまとめる。力強さと優しさを感じられるメッセージが詰まっており、新しいことに挑戦したいという突き動かされるような元気をもらえる一冊。



『読んで、旅する。』

伊集院 静／著 小学館 2022

世界中を旅して出会った芸術家、作家、著名人などのふと心に響いた「ひと言」をテーマに綴った珠玉の紀行文集。著者の豊潤な感性や言葉の余韻をじっくり味わえ、まるで一緒に旅しているかのような感覚を堪能できる。人気シリーズ「旅だから出逢えた言葉」の第3弾。



『奇妙な国境や境界の世界地図』

ゾラン・ニコリッチ／著 松田 和也／訳 創元社 2023

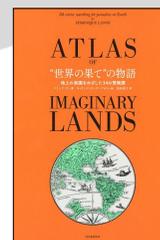
世界では国境をめぐる紛争が起きるたびに、新たな国境線が何度も引き直されてきた。そうしてできた国境線のなかには、なんとも複雑で訳のわからないものが数多く生まれている。そのような複雑で普通ではない、国境・境界を集めた異色の地図帳。今の世界を知るうえで有益な知識や視点を得る手助けになる一冊。



『日本人が知らない世界の祝祭日事典』

斗鬼 正一／著 淡交社 2022

世界各地の特徴的な祝祭日を取り上げ、その背景を紹介。それらを通して見えてくる文化や歴史的背景、価値観など、文化人類学者ならではの視点で書かれており、珍しい祝日の面白さだけでなく、世界にあふれる多様性を知ることができる。何気なく開いたページの祝祭を体験しにふらっと旅をするのもあり！？



『“世界の果て”の物語』

ドミニク・ラニ／著 キャリン・ドゥリング＝フロジェ／絵
鳥取 網子／訳 河出書房新社 2018

世界はどのように発見されたのか？ 地上の楽園はどこにあるのか？ 神話や伝説、想像、わずかな情報を元に地の果てへと邁進した探検家、歴史家、旅行家たちの34の物語。魅力的な地図とともに私たちも空想の世界へ！



『それでも旅に出るカフェ』

近藤 史恵／著 双葉社 2023

店主の円が海外で出会った珍しいスイーツが名物のカフェ・ルーズ。コロナ禍に負けじと営業を続ける店に集まるのは事情を抱えた客たちで…。出てくる料理やスイーツはどれもおいしそうで、こんなカフェがあったらと思うこと間違いなし！『ときどき旅に出るカフェ』の続編。



『アウトドア六法』

中島 慶二／監修 溝手 康史／監修 益子 知樹／監修
ベリベスト法律事務所／監修 上野 園美／監修
山と溪谷社／編 山と溪谷社 2023

忙しい日常からの解放として、近年キャンプがブームとなっている。知っているようで意外と知らないアウトドアに関する法律を、山、川、海、公園といった場所ごとにわかりやすく解説する。



『「徳川」御朱印ガイド』

「徳川」御朱印ガイド編集室／著
メイツユニバーサルコンテンツ 2023

テレビドラマでも注目を浴びる徳川家康。世界文化遺産に登録されている日光東照宮をはじめ、全国の徳川家ゆかりの寺社仏閣120以上の御朱印を紹介。家康ゆかりの地をめぐり、天下統一の足跡をたどってみては？